

令和8年度

研究事業成果発表会

聴き、対話し、学びを深め、取組に生かす

日時

令和9年2月15日（月）

13:00～16:30

会場

広島県立教育センター

実施方法

対面 + リアルタイムオンライン

対象

県内学校の教職員及び教育委員会事務局等の職員
その他教育関係者

13:00～13:10 開会行事

13:10～14:10

企画部

三年計画の二次次

「学び続ける教師」が育つ学校」の在り方に関する研究
ー 学校現場で活用する研修パッケージの開発を通して ー
【研究指導者】広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 米沢崇



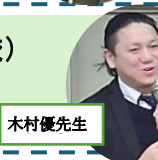
米沢崇先生

14:10～15:10

教科教育部

三年計画の三次次

教師一人一人が学び続けるための研究授業の在り方（高等学校）
ー 研究授業における授業参観者の関わりに着目して ー
【研究指導者】福井大学大学院連合教職開発研究科 教授・研究科長 木村優



木村優先生

15:20～16:20

特別支援教育
・教育相談部

三年計画の一次次

知的障害のある児童生徒の自立活動に関する研究
ー 学校全体で取り組む校内研修パッケージの開発と活用を通して ー
【研究指導者】独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部
上席総括研究員（命）調整担当部長（兼）
ウェルビーイングS&Iセンター 企画戦略ユニット 丹野哲也



丹野哲也先生

16:20～16:30 閉会行事

【昨年度の参加者の声より】

学校の取組に即した内容であり、どの校種、どの教科の先生も一緒に学び合えるテーマであるという点が良かった。

ブレイクアウトルームで他県の先生方ともお話しできたのが非常に良い経験でした。

3発表とも、すぐに自校に生かせる内容でした。学び続ける学校になるために、頑張ろうと思えました。

【参加申込】 次の URL 又は二次元コードからお申込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=31610

申込期間: 令和8年10月1日(木)～令和9年2月8日(月)



【問い合わせ先】

広島県立教育センター

〒739-0144 広島県東広島市八本松南一丁目2-1

電話(082)428-1149(教科教育部)

企画部

「学び続ける教師」が育つ学校」の在り方に関する研究 － 学校現場で活用する研修パッケージの開発を通して －

教師の「学び」を
新たな視点で！

教師として成長する姿を捉えます

組織の中核的立場を担うミドルリーダーの育成は、学校現場にとって重要な課題の一つです。企画部では令和7年度から、教師の学び合いの場づくりについての研究を始めました。昨年度は理論の整理と事例収集を行いました。

今年度は、ミドルリーダーを対象としたインタビュー調査を基に、多様な背景を有する教師が自らの学びや同僚との学び合いによって教師としての自己の在り方を更新し成長する姿を捉えます。

自らの学びや同僚との学び合いは、教師としての成長やキャリア・アップデートとどのように関係しているのでしょうか。職務や協働に関する難しさ、ミドルリーダーの成長、育成やサポートに関する難しさに応える成果をめざしています。



教科教育部

教師一人一人が学び続けるための研究授業の在り方（高等学校） － 研究授業における授業参観者の関わりに着目して －

全校種の先生の
ヒントに！

「研究授業」をアップデートし、参観者の学びをつくる

社会の急速な状況の変化に伴い、教師にはこれまで以上に「学び続ける存在」であることが期待されています。本研究は、教師同士が学び合う場である「研究授業」を教師一人一人の学びに、より一層つなげていけるようにアップデートするものです。

本研究では、特に「授業参観者」の学びに着目し、「授業を見る視点の明確化」及び「教師間の協働」を促す手立てについて考案し、研究協力校における実践、検証等を進めてきました。

発表では、これまでの成果を報告するとともに、授業参観者の学びを促す「授業参観者の手引き」を提案します。高等学校に限らず、研究授業における学びを充実させたいと考える全ての先生方のヒントになれば幸いです。



特別支援教育 ・教育相談部

知的障害のある児童生徒の自立活動に関する研究 － 学校全体で取り組む校内研修パッケージの開発と活用を通して －

まずは自立活動と
校内研修の現状
を知るところから

学校全体の自立活動の指導の専門性を高める

自立活動は障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服を目的とした指導であり、特別支援学校においては教育の核です。自立活動は、特別支援学級や通級による指導でも取り組まれ、また、通常の学級における個別的な対応においても重要です。

特別支援学校では、知的障害のある子供が増加しています。また、その自立活動の指導は、生活単元学習など様々な指導の形態の中で行われるため、個に応じた指導目標・内容の設定や評価が難しくなることが考えられます。本研究では、学校全体の自立活動の指導に係る専門性の向上を目指し、校内研修で活用できる自立活動の校内研修パッケージを開発します。

発表では、校内研修パッケージの開発に向け、県立特別支援学校を対象に行った自立活動の指導と校内研修に関するアンケートから分析したことをお伝えします。

